



## 2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月2日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 藤田 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 池田 賢一

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 2018年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	12,055	21.4	681	130.0	581	122.6	363	
2018年3月期第1四半期	9,932	4.4	296	4.2	261	13.0	28	16.4

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 364百万円 (292.2%) 2018年3月期第1四半期 124百万円 (216.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	8.25	
2018年3月期第1四半期	0.57	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	60,353	16,139	26.7	366.46
2018年3月期	59,939	16,129	26.9	364.49

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 16,139百万円 2018年3月期 16,129百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		8.00	8.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		90.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び1株当たり年間配当金は9円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	6.3	1,200	25.1	1,050	20.8	750	8.7	170.30
通期	53,000	7.6	2,750	10.1	2,500	6.3	1,800	3.0	408.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	51,926,194 株	2018年3月期	51,926,194 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	7,885,280 株	2018年3月期	7,884,947 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	44,041,081 株	2018年3月期1Q	49,400,436 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、2018年6月22日開催の第109期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した2019年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 2019年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 0円00銭(注1) 期末 9円00銭(注2)

2. 2019年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 第2四半期(累計) 17円03銭 通期 40円87銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前です。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3) 2019年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は9円00銭となります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①業績全般について

当第1四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、FPD (Flat Panel Display) 業界については、大型パネル向け投資は中国を中心にテレビ向けの設備投資が堅調に推移しましたが、中小型パネル向け投資はスマートフォン用OLED (有機EL) 向けを中心にやや調整傾向となりました。

半導体業界については、データセンター向けサーバの需要増や半導体用途の拡大などを背景に設備投資が好調に推移しました。また、中国における設備投資やOSAT (後工程受託メーカー) での設備投資も好調に推移しました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は18,970百万円 (前年同期比5.0%増) となりました。

売上高は12,055百万円 (前年同期比21.4%増)、営業利益は681百万円 (前年同期比130.0%増)、経常利益は581百万円 (前年同期比122.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は363百万円 (前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益28百万円) となり、増収増益となりました。

## ②セグメントの業績について

主な事業セグメントの業績は次のとおりです。

## (ファインメカトロニクス部門)

FPD前工程では、大型パネル向け装置は堅調に推移しましたが、中小型パネル向け装置がやや調整傾向となり受注は減少しました。売上は、前年度好調に推移した受注の寄与などにより増加しました。

半導体前工程では、活発な設備投資により受注、売上がともに増加しました。

この結果、部門全体では受注はやや減少しましたが、売上は増加し、売上高は6,098百万円 (前年同期比34.9%増) となりました。セグメント利益は増収に加え、売上構成の変化などにより改善しましたが、セグメント損失30百万円 (前年同期はセグメント損失226百万円) となりました。

## (メカトロニクスシステム部門)

FPD後工程では、大型パネル向け装置、中小型パネル向け装置がともに受注、売上が堅調に推移しました。

半導体後工程では、スマートフォン部品向け装置や先端パッケージ向け装置を中心に受注、売上がともに大幅に増加しました。

真空応用装置では、電子部品関連、車載関連装置を中心に受注、売上がともに増加しました。

この結果、部門全体では受注、売上がともに増加し、売上高は4,975百万円 (前年同期比14.9%増) となりました。セグメント利益は増収に加え、売上構成の変化などにより増加し、701百万円 (前年同期比68.3%増) となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ414百万円増加し60,353百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,126百万円、仕掛品が708百万円、前払費用が250百万円増加した一方で売掛金が2,082百万円、未収入金が654百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ404百万円増加し44,214百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,120百万円増加した一方で未払費用が447百万円、未払法人税等が445百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し16,139百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期業績につきましては、2018年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,399	15,525
受取手形及び売掛金	28,338	26,453
電子記録債権	640	498
商品及び製品	1,048	1,102
仕掛品	2,045	2,753
原材料及び貯蔵品	187	189
未収入金	1,476	822
その他	777	1,135
貸倒引当金	△367	△360
流動資産合計	47,547	48,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,611	28,675
減価償却累計額	△19,791	△19,842
建物及び構築物(純額)	8,820	8,832
機械装置及び運搬具	4,507	4,512
減価償却累計額	△3,555	△3,486
機械装置及び運搬具(純額)	952	1,026
工具、器具及び備品	812	821
減価償却累計額	△653	△671
工具、器具及び備品(純額)	159	149
土地	119	119
リース資産	366	307
減価償却累計額	△333	△283
リース資産(純額)	32	24
建設仮勘定	330	409
有形固定資産合計	10,414	10,562
無形固定資産		
特許権	320	320
その他	350	339
無形固定資産合計	671	660
投資その他の資産		
投資有価証券	124	124
長期前払費用	4	11
繰延税金資産	795	590
その他	382	288
貸倒引当金	△1	△5
投資その他の資産合計	1,306	1,009
固定資産合計	12,391	12,232
資産合計	59,939	60,353

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,999	16,120
短期借入金	5,100	5,100
1年内返済予定の長期借入金	500	500
リース債務	15	7
未払法人税等	578	133
未払費用	4,063	3,615
前受金	1,241	1,148
役員賞与引当金	44	19
受注損失引当金	5	4
その他	495	818
流動負債合計	27,044	27,468
固定負債		
長期借入金	6,000	6,000
リース債務	19	17
長期未払金	2	2
退職給付に係る負債	7,308	7,295
役員退職慰労引当金	13	11
修繕引当金	308	304
資産除去債務	35	35
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	16,766	16,745
負債合計	43,810	44,214
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,037	9,037
利益剰余金	5,264	5,273
自己株式	△4,053	△4,054
株主資本合計	17,009	17,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	31
為替換算調整勘定	361	303
退職給付に係る調整累計額	△1,272	△1,214
その他の包括利益累計額合計	△880	△879
純資産合計	16,129	16,139
負債純資産合計	59,939	60,353

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	9,932	12,055
売上原価	7,297	8,742
売上総利益	2,635	3,313
販売費及び一般管理費	2,338	2,632
営業利益	296	681
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
為替差益	1	76
その他	9	28
営業外収益合計	11	106
営業外費用		
支払利息	32	32
デリバティブ評価損	5	156
その他	8	16
営業外費用合計	46	205
経常利益	261	581
税金等調整前四半期純利益	261	581
法人税、住民税及び事業税	18	14
法人税等調整額	214	204
法人税等合計	233	218
四半期純利益	28	363
親会社株主に帰属する四半期純利益	28	363

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	28	363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	20	△57
退職給付に係る調整額	75	58
その他の包括利益合計	96	0
四半期包括利益	124	364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124	364



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	4,520	4,331	569	510	9,932
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	42	0	—	53
計	4,532	4,373	569	510	9,986
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△226	417	19	141	352

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	352
全社費用(注)	△65
その他	△24
四半期連結損益計算書の経常利益	261

(注)全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	6,098	4,975	492	488	12,055
セグメント間の内部売上高又は振替高	17	35	—	—	53
計	6,116	5,011	492	488	12,109
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△30	701	△47	121	744

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	744
全社費用(注)	△66
その他	△96
四半期連結損益計算書の経常利益	581

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。